

静岡県月例経済報告

(令和4年11月号)

……令和4年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 559

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7
・生産面	15
・雇用面	17
・その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和4年9月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響があるものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される一方、新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意する必要があるほか、引き続き物価高騰、供給制約等が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(9月)は、スーパーが6か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が7か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(9月)は、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が3か月ぶり、コンビニエンスストアが6か月連続、ドラッグストアが17か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車が13か月ぶり、軽自動車が15か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも15か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(9月)は、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が9か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(9月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(9月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製

造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（9月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（9月）は、原動機が7か月ぶり、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコン、自動車、科学光学機器がいずれも4か月連続、二輪自動車類が11か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（9月）は、木材が19か月ぶり、紙類及び同製品が6か月ぶり、自動車の部分品が7か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が6か月連続、パルプが18か月連続、原動機が20か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも20か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、831億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（9月）は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械が3か月連続、輸送機械が4か月連続、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月連続、食料品・たばこが3か月ぶりに前年水準を上回ったため、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに減少した。

なお、鉱工業在庫指数（9月）は、総合では3か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きが続いている」

有効求人倍率（9月）は1.33倍となり、前月を0.01ポイント上回った。全国値を0.01ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（9月）は、16か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（8月）は、9か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年と同水準となり、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（9月）は、前年と同水準となった。

信用保証協会保証金額（9月）は、前年同月比 162.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産（10月）は、月件数は22件（前年同月比 10.0%増）と、前年実績を上回り、負債総額は2,613百万円（同 88.4%減）と、前年実績を下回った。

<トピックス>

令和4年台風15号に伴う制度融資 「中小企業災害対策資金」・「農林水産業災害対策資金」

令和4年度台風第15号に伴い、県内の中小企業及び農林水産業者を対象に、資金の貸付を実施します。

「中小企業災害対策資金」

項目	内容	
	直接被害	間接被害
対象被害	事業用建物、設備、備品、商品等に実被害を受けたもの	実被害以外の影響で1か月間の売上が前年同月比で10%以上減少した又は減少する見込みのもの
資金使途	災害復興に必要な設備資金、運転資金	運転資金
保証料率 (保証料補助後)	(県内全域)普通保証：0.15%～0.60% (23市町)SN4号：0.00% ※	(県内全域)普通保証：0.30%～1.30% (23市町)SN4号：0.60% ※
融資利率及び 利用する保証	年1.6%：普通保証（県内全域） 年1.5%：SN4号（23市町）※	※近日中に告示
融資限度額	5,000万円	
融資期間	10年以内（据置期間1年以内）	
取扱期間	令和4年9月27日からSN保証4号の適用期限（告示日から3ヶ月後）まで	
お問い合わせ先	商工金融課（054-221-2525）	

「農林水産業災害対策資金」

項目	内容
対象被害	令和4年台風第15号に伴う大雨等による災害（対象地区：全県）
対象者	1 被災後1月間に農林水産業による総収入額（以下「農業等収入額」という）が、被災前5年間の各年の被災後1月間に相当する期間における農業等収入額について、最大及び最小の年を除いた各年の農業等収入額の合計額を3で除して得た額と比較して10パーセント以上減少した者 2 農林水産業に係る被害額が20万円以上の者
資金使途	・経営安定のための運転資金 ・生活維持に必要な資金
融資利率	0.60%（令和4年9月20日現在） * 県の利子補給承認時と融資機関の貸付実行時を比較して低い方の利率を適用
償還期限	5年以内（うち据置期間1年以内）
融資限度額	・運転資金：個人1,000万円、法人2,000万円 ・生活維持資金：個人300万円
取扱金融機関	静岡県信用農業協同組合連合会、県内の農業協同組合、東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店
償還方法	元本均等年賦償還
取扱期間	令和4年9月27日から令和5年3月31日まで
お問い合わせ先	農業：農業ビジネス課(054-221-2629) 水産業：水産振興課(054-221-2694) 林業：林業振興課(054-221-2667)

その他支援策はこちら：<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-sien/taihu15.html>

<トピックス>

事業継続・強化

燃油・飼料価格高騰による購入費用の増加に対する助成

令和4年6月補正で、燃油・飼料価格高騰に対する対象期間を拡大しました。申請等に関する詳細は、HP等でご確認ください。

飼料価格高騰緊急対策事業費助成	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	畜産農家	畜産振興課 054-221-2706
	対象経費	基準価格を超えた飼料代ほか	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
	申請期間	令和4年12月	
	備考	自家配合飼料を使用する畜産農家（国のセーフティネット制度未加入者を含む）も対象	
漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	漁業者、養殖業者	水産振興課 054-221-2695
	対象経費	基準価格を超えた燃油代、飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県漁業協同組合連合会	
	申請期間	7～9月分：令和4年11月1日～12月9日	

国のセーフティネット制度に加入することが要件です。

<トピックス>

事業継続・強化

ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度活用 消費喚起事業

コロナ禍における原油価格・物価高騰等の影響を受けている地域経済を活性化するため、デジタル技術を活用し、事業者の負担を軽減したプレミアム付き電子食事券を発行します。

区分	内容
販売期間	第1弾 / 令和4年10月11日（火） 第2弾 / 令和4年11月14日（月） } 2回に分けて販売
利用期間	令和4年10月17日（月）～令和5年1月15日（日）
発行総額	100億円（プレミアム額20億円、プレミアム率25%）
発行単位	5,000円（6,250円分）※1回の購入で4口まで購入可能
購入上限 （1人あたり）	第1弾、第2弾とも20,000円（25,000円分）まで
発行方法	LINEアプリ内で購入 （決済はクレジットカード決済とコンビニ現金支払の2種類）
購入対象者	どなたでも（在住地問わず）
対象店舗	以下の制度のうち参加申請のあった店舗 ・「ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度」認証店 ・「はままつ安全・安心な飲食店認証制度」認証店

（参考）ふじのくに安全・安心認証（飲食店）制度

認証基準	業界別ガイドライン等に沿ったチェックリスト（約60項目）に適合 ・店舗入口での消毒 ・座席やテーブルの配置 ・換気の実施、湿度の保持 ・認証マーク、認証書の適切な管理 ほか
備考	認証の質を担保する見回り（感染防止対策の状況確認）を実施中

お問い合わせ先 キャンペーン事務局（10時～18時）
（050-3310-7716）

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(R4年11月22日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R4.3.31】	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R4.3.31】	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R4.3.31】	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R4.4.1～】	億円 99	件 1,036	建設業38.2%、卸小売業19.1%、製造業13.4%、飲食業5.7%、運輸業3.6%、宿泊・旅行業0.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R4.4.1～】	億円 162	件 1,051	建設業28.4%、卸小売業21.1%、製造業19.6%、飲食業11.1%、運輸業3.2%、宿泊・旅行業2.1%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R4.4.1～】	億円 6	件 32	製造業43.8%、建設業15.6%、卸小売業15.6%、飲食業12.5%、宿泊・旅行業3.1%等
計		億円 11,654	件 69,958	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
農・林・ 漁・鉱業	8.6	45.8	▲6.6	43.0	24.8	▲16.7	66.1	26.4	6.8	46.3	5.6	21.5
建設業	6.4	4.1	8.6	2.3	9.4	4.7	4.8	12.7	2.4	▲2.0	3.9	▲0.3
製造業	45.9	42.2	32.6	39.0	33.0	16.6	19.7	22.8	8.1	10.7	10.6	3.1
卸売・小売業	13.7	10.3	12.6	18.1	20.8	19.2	21.3	50.1	16.7	28.2	46.6	9.9
金融、保険 不動産業	35.7	9.7	21.4	13.3	21.3	5.9	8.5	34.5	15.1	▲4.0	31.5	17.0
運輸業	1.8	31.2	36.0	14.1	▲3.7	28.2	13.3	3.7	19.3	▲0.5	13.2	0.8
情報通信業	▲5.4	▲9.6	7.6	▲6.8	2.7	38.2	▲14.6	1.5	▲4.3	▲2.2	▲5.4	9.0
飲食、宿泊 サービス業他	17.5	17.8	28.3	28.2	10.3	23.1	18.9	22.7	8.3	29.4	16.9	11.5
県全体	17.8	15.2	15.6	20.1	10.8	15.3	16.2	14.7	9.2	13.9	14.3	5.6

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
農・林・ 漁・鉱業	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
建設業	7	6	3	1	6	2	2	3	0	1	3	6
製造業	2	2	1	1	3	3	7	4	1	2	3	4
卸売・小売業	2	1	0	1	4	5	3	4	1	1	3	6
金融、保険 不動産業	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1
運輸業	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	1
情報通信業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
飲食、宿泊 サービス業他	5	3	3	2	2	8	4	3	3	3	4	4
県全体	19	13	8	7	16	19	18	15	5	9	16	22
うちコロナ 関連倒産	1	5	2	3	5	6	4	2	2	6	8	5

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9 月 = 34,582百万円

*前年同月比： 0.7%増

(県内3百貨店、153スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は34,582百万円で、前年同月比0.7%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比1.0%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店（同12.4%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、飲食料品（同1.2%減）が2か月連続、家庭用品（同3.5%減）が17か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同10.2%増）が2か月連続、身の回り品（同14.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.9%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	33,491	36,202	34,604	36,374	35,424	37,045	36,445	34,582
前年同月比(%)	2.2	0.5	0.4	0.3	▲1.5	0.2	1.6	0.7
うち百貨店(%)	▲2.7	0.9	6.5	13.5	1.8	2.7	18.0	12.4
スーパー(%)	3.0	0.4	▲0.6	▲1.7	▲2.1	▲0.2	▲0.4	▲1.0
(参考1)全国前年同月比(%)	0.1	1.5	4.0	8.5	1.3	2.8	3.8	4.1
うち百貨店(%)	▲0.8	4.4	18.6	56.0	11.6	9.4	25.4	19.9
スーパー(%)	0.4	0.4	▲0.3	▲2.0	▲2.1	0.5	▲1.4	▲0.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	2.2	0.3	1.2	1.0	▲1.0	0.5	2.1	2.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	▲11.9	3.5	3.1	4.6	▲2.7	▲1.4	14.9	10.2
うち紳士服・洋品	▲10.8	5.3	3.4	8.0	▲2.7	1.2	12.8	10.8
婦人・子供服・洋品	▲11.8	1.9	2.0	3.9	▲3.6	▲1.4	17.6	11.1
身の回り品	▲12.2	▲1.7	5.3	6.5	▲3.0	0.5	14.9	14.8
飲食料品	3.8	▲0.1	▲0.5	▲0.8	▲2.1	0.2	▲0.4	▲1.2
家庭用品	▲1.2	▲3.9	▲3.6	▲7.3	▲6.6	▲7.4	▲2.9	▲3.5
うち家庭用電気機械器具	▲7.0	▲2.1	▲5.4	▲10.2	▲0.5	▲10.2	▲5.1	▲5.7

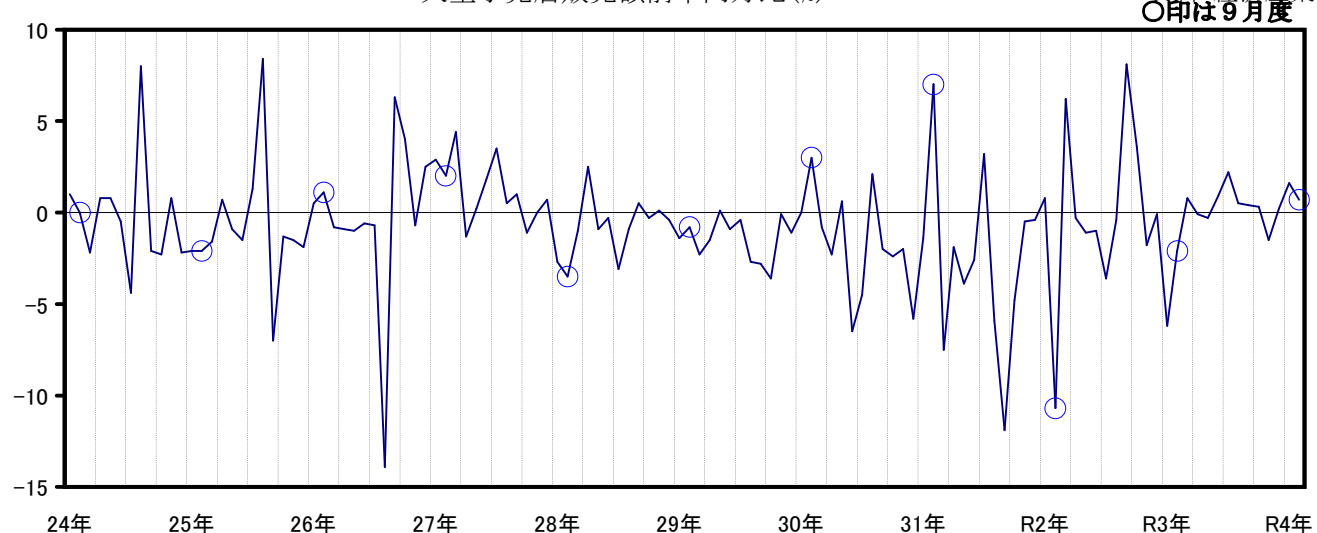
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 73,959百万円

*前年同月比：4.2%増

(県内93家電大型専門店、1,676コンビニエンスストア、578ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は73,959百万円で、前年同月比4.2%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比2.3%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同6.4%増）が3か月ぶり、コンビニエンスストア（同3.0%増）が6か月連続、ドラッグストア（同6.9%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額（百万円）	65,067	76,072	71,394	74,404	73,672	79,845	79,103	73,959
前年同月比（%）	1.6	2.4	1.4	1.2	3.4	3.3	4.6	4.2
うち 家電大型専門店（%）	▲3.2	3.6	▲1.3	▲9.5	3.1	▲2.4	▲3.5	6.4
コンビニエンスストア（%）	0.5	▲2.2	1.4	3.5	4.0	3.5	6.9	3.0
ドラッグストア（%）	6.2	8.0	4.2	3.7	3.8	7.1	6.5	6.9
ホームセンター（%）	▲3.7	0.0	▲4.0	▲1.7	1.0	▲2.1	▲0.9	▲2.3
(参考)全国前年同月比（%）	0.8	2.2	2.0	0.9	3.2	2.4	3.4	3.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

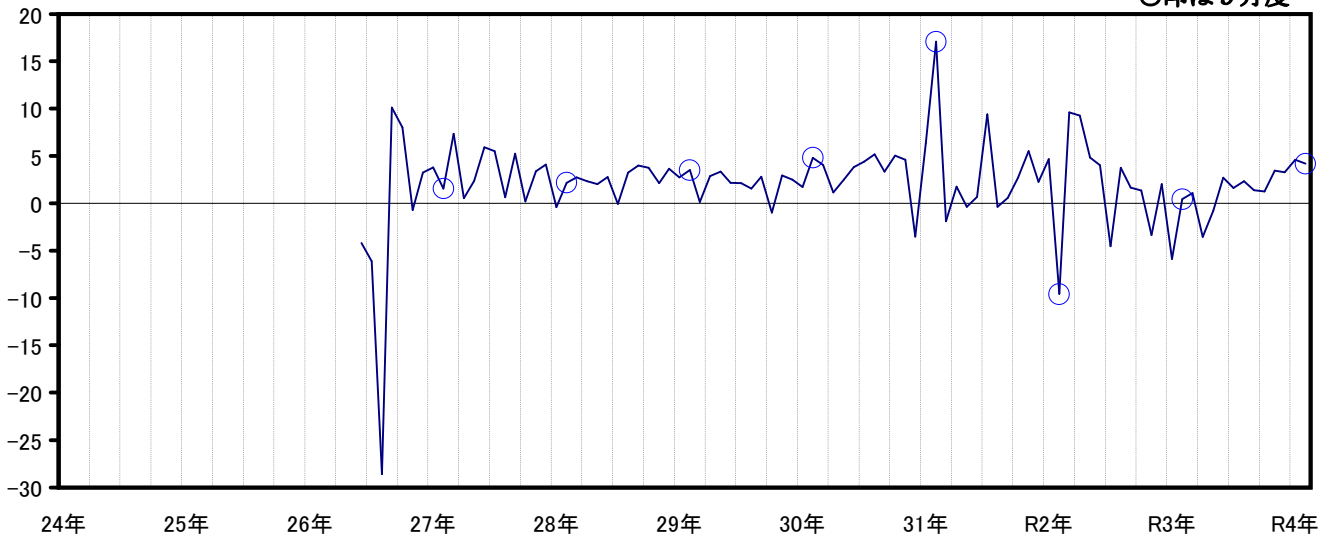
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は9月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

9月 = 13,178 台

*前年同月比： 28.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は13,178台(前年同月比 28.0%増)と、15か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 28.2%増)が13か月ぶり、軽自動車(同 27.8%増)が15か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	13,414	18,091	10,225	9,191	11,368	11,924	9,874	13,178
前年同月比(%)	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0	▲11.2	▲10.3	28.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲19.9	▲16.5	▲15.3	▲19.0	▲9.6	▲6.9	▲11.2	26.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

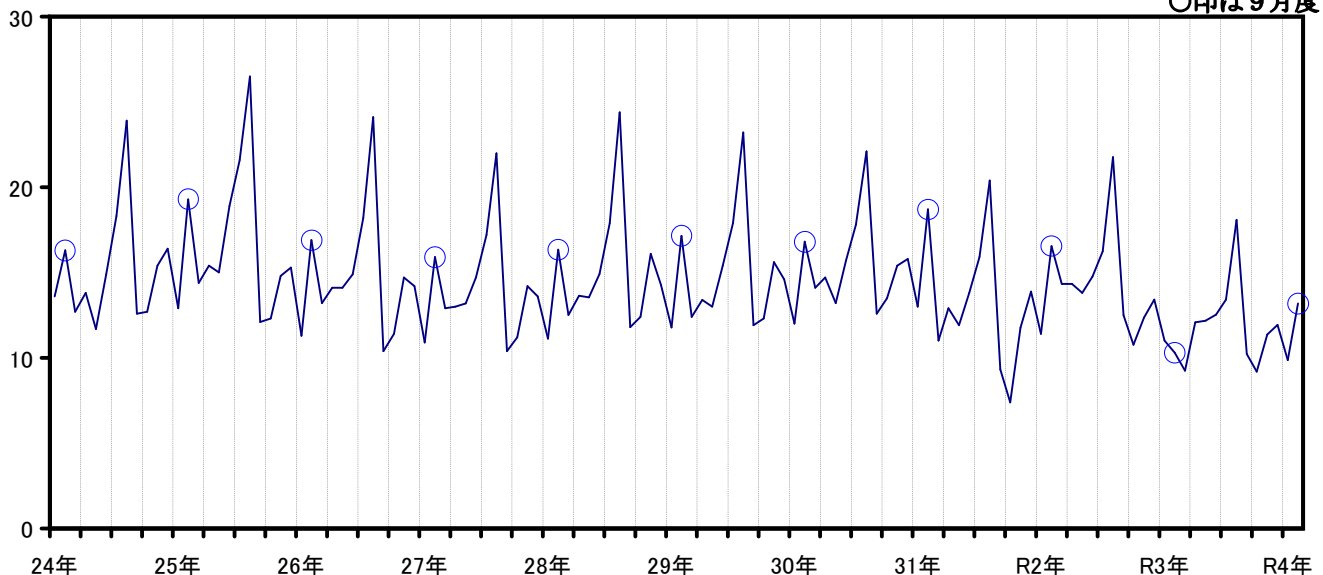
	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0	▲11.2	▲10.3	28.0
乗用車	▲21.6	▲16.9	▲26.0	▲16.8	▲10.6	▲15.7	▲12.8	28.2
軽自動車	▲13.0	▲16.9	▲9.9	▲12.6	▲5.2	▲6.0	▲7.4	27.8

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は9月度



(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,566 戸

*前年同月比： 4.6%減

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,566戸で、前年同月比 4.6%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 25.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 17.2%減）が9か月連続、分譲住宅（同 2.5%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数 (戸)	1,551	1,731	1,706	1,587	1,748	1,852	1,730	1,566
前年同月比 (%)	▲ 4.6	5.0	▲ 11.7	▲ 10.6	▲ 4.5	13.5	▲ 3.5	▲ 4.6
うち持家 (%)	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 12.7	▲ 6.2	▲ 2.1	▲ 17.2
貸家 (%)	▲ 0.7	4.5	▲ 20.7	▲ 24.8	3.5	92.0	▲ 10.0	25.1
分譲住宅 (%)	▲ 4.3	31.6	22.4	0.0	5.7	▲ 12.8	3.0	▲ 2.5
(参考)全国前年同月比 (%)	6.3	6.0	2.2	▲ 4.3	▲ 2.2	▲ 5.4	4.6	1.0

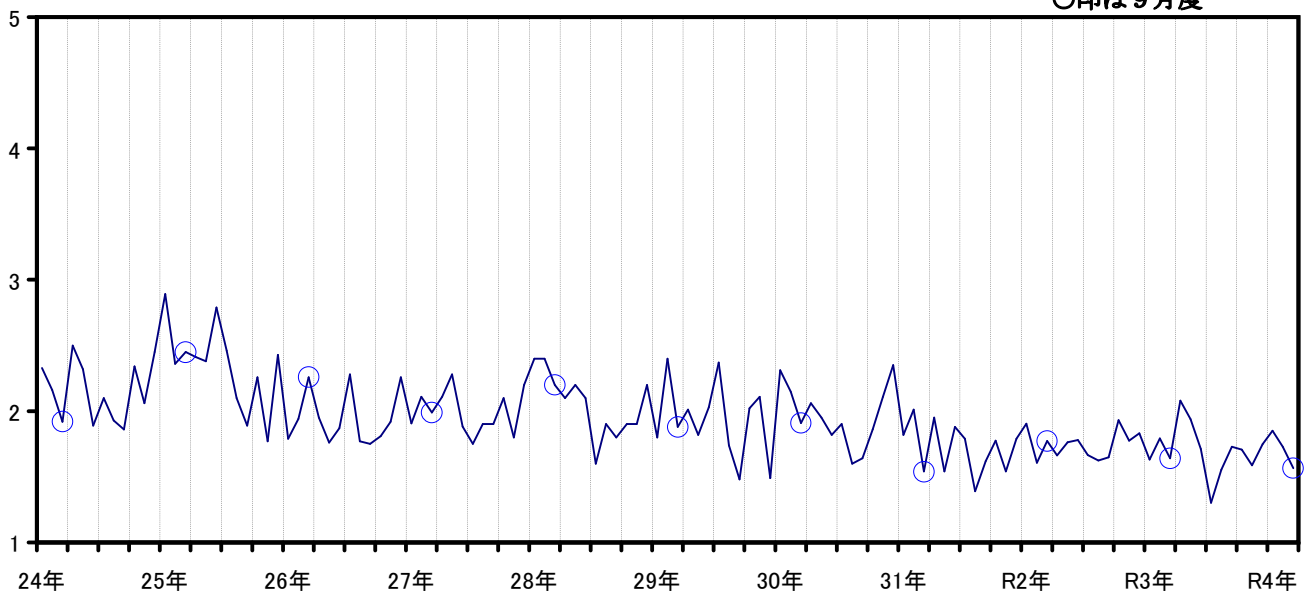
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は9月度



3 公共工事請負金額

9月 = 36,131百万円

*前年同月比：20.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は36,131百万円で、前年同月比20.9%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は1,044件で、前年同月比3.0%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額(百万円)	11,865	25,996	53,327	30,010	33,505	30,400	36,867	36,131
前年同月比(%)	57.8	18.9	▲5.8	▲27.9	▲18.6	▲15.4	21.2	▲20.9
年度累計前年同月比(%)	▲11.6	▲10.0	▲5.8	▲15.2	▲16.2	▲16.0	▲10.5	▲12.4
件数(件)	207	482	519	522	769	730	807	1,044
前年同月比(%)	31.0	4.8	▲24.5	▲12.4	▲0.8	▲13.4	4.0	▲3.0
年度累計前年同月比(%)	▲1.9	▲1.5	▲24.5	▲18.9	▲12.1	▲12.4	▲9.0	▲7.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

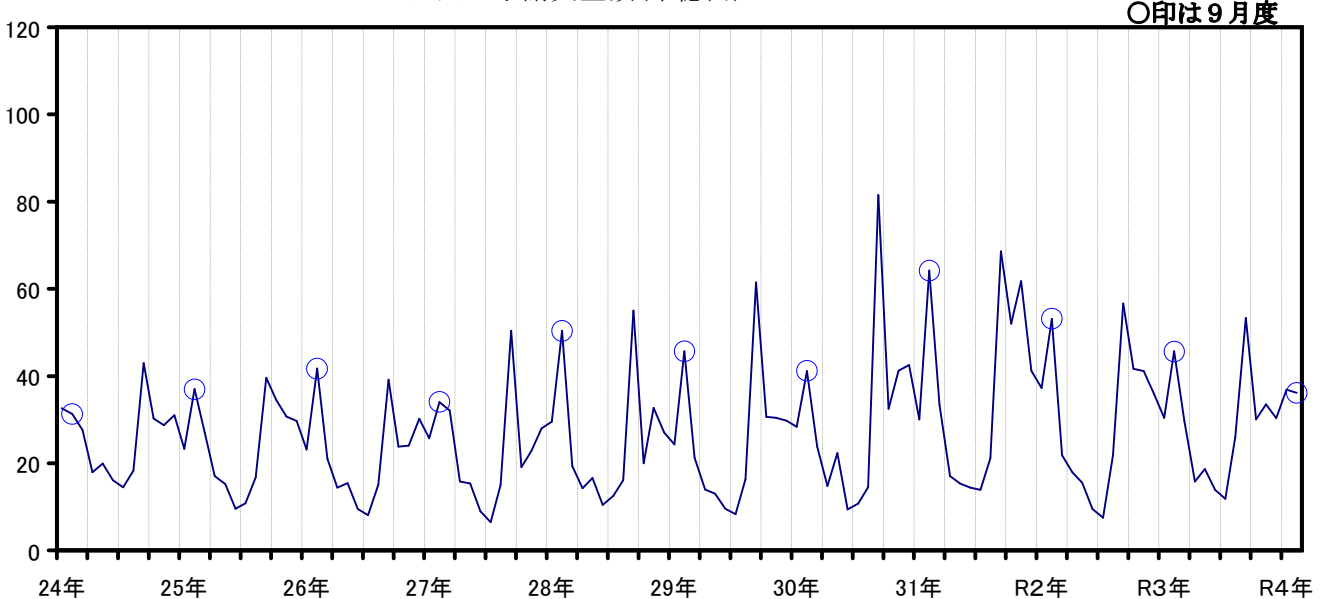
	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	14.0	51.5	▲14.7	▲38.7	▲63.9	▲51.4	▲21.4	▲34.4
独立行政法人等	-	940.7	84.7	▲53.2	▲37.3	▲8.6	312.4	▲94.9
県	59.9	▲18.4	▲16.0	▲13.1	4.7	▲23.3	12.2	1.4
市町	113.3	9.9	▲18.2	▲2.3	1.5	6.6	0.3	10.1
地方公社	-	-	▲90.4	-	▲19.0	206.6	118.2	▲46.3
その他	▲22.7	54.0	71.5	▲53.7	68.4	▲28.5	231.5	109.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 45.2%増）、非製造業（同 3.9%増）、全産業（同 25.0%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 26.3%増）、非製造業（同 6.6%増）、全産業（同 21.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は78,834㎡で、前年同月比 28.8%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	▲1.4	(▲4.8) 25.0
	全国	▲0.8	(2.0) 16.4
製造業	県	8.8	(▲1.8) 45.2
	全国	1.1	(0.6) 21.2
非製造業	県	▲10.1	(▲8.8) 3.9
	全国	▲1.9	(2.9) 13.6

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	1.9	(▲2.7) 21.2
	全国	1.2	(1.5) 14.9
製造業	県	6.0	(▲0.8) 26.3
	全国	2.9	(0.6) 15.3
非製造業	県	▲8.0	(▲8.4) 6.6
	全国	▲0.7	(2.6) 14.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和4年9月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和4年9月調査）」

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	66,037	97,183	99,878	130,880	106,649	245,468	85,171	78,834
前年同月比（%）	▲4.4	▲17.2	7.3	97.4	▲7.2	126.6	▲37.3	▲28.8
（参考）全国前年同月比（%）	11.0	▲15.1	15.6	▲8.4	12.0	22.0	27.0	▲3.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年6月	R4年9月	R4年12月 (予測)
全産業	全産業	▲6	▲5	▲1
	製造業	▲12	▲11	▲4
	非製造業	0	1	1
（参考）全国・全産業		2	3	1

（注4）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和4年9月調査）」

5 輸出

9月 = 215,361百万円

*前年同月比： 1.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は215,361百万円で、前年同月比 1.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 4.7%減）が7か月ぶり、自動車の部分品（同 32.9%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、エアコン（同 62.0%増）、自動車（同 43.3%増）、科学光学機器（同 33.5%増）がいずれも4か月連続、二輪自動車類（同 67.9%増）が11か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 5.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国向け（同 4.7%増）が4か月連続、EU向け（同 15.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	185,214	228,526	214,017	182,437	224,345	229,506	209,187	215,361
前年同月比(%)	▲4.6	3.1	5.7	▲8.2	3.2	6.5	8.9	1.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	▲8.1	17.5	40.2	9.2	40.5	45.5	69.1	▲4.7
エアコン	1.8	14.5	33.9	▲0.2	18.6	73.3	85.1	62.0
自動車	▲35.7	▲39.4	2.3	▲24.3	70.7	6.3	7.7	43.3
自動車の部分品	17.0	29.8	22.0	1.2	4.5	▲19.2	▲4.5	▲32.9
二輪自動車類	5.1	32.3	32.8	8.6	16.8	64.7	35.0	67.9
科学光学機器	11.8	29.9	24.5	▲7.4	22.9	0.1	40.6	33.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	8.0	▲3.4	▲6.4	▲7.1	▲6.6	▲5.7	0.1	▲5.0
米国	▲8.9	29.1	42.8	▲2.8	30.3	29.1	34.1	4.7
EU	▲22.7	▲5.8	▲4.0	▲26.2	0.2	20.0	▲3.3	15.1

<資料>清水税関支署

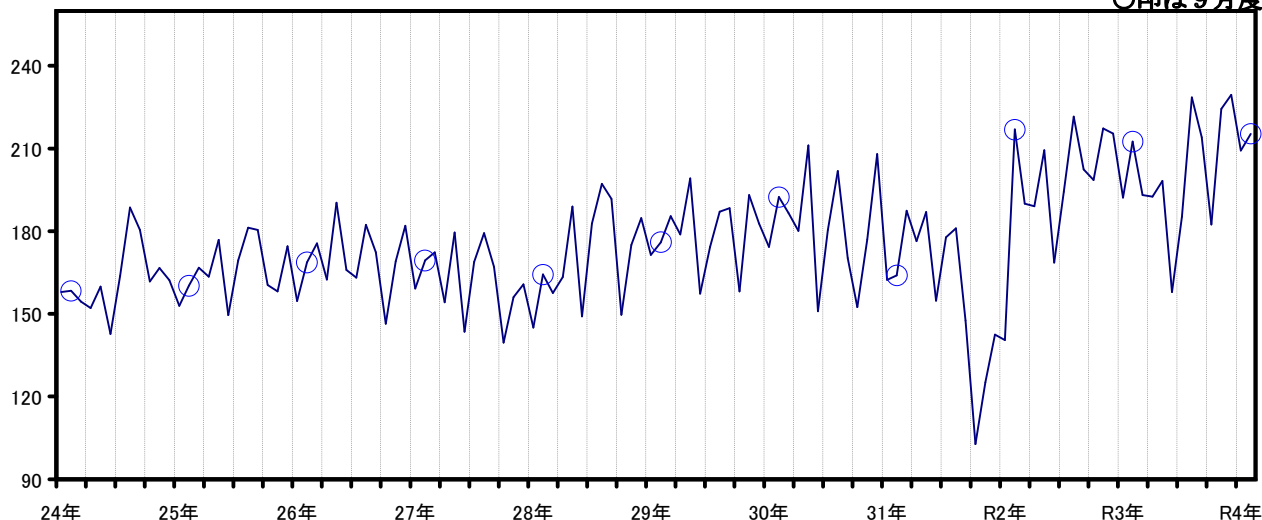
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



6 輸入

9月 = 132,265百万円

*前年同月比： 37.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は132,265百万円で、前年同月比 37.3%増となり、20か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 26.7%減）が19か月ぶり、紙類及び同製品（同 16.3%減）が6か月ぶり、自動車の部分品（同 0.9%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 41.9%増）が6か月連続、パルプ（同 32.2%増）が18か月連続、原動機（同 12.4%増）が20か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 60.6%増）が6か月連続、米国から（同 26.5%増）が5か月連続、EUから（同 11.7%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	97,614	110,295	138,439	123,731	134,545	120,720	128,046	132,265
前年同月比(%)	21.8	3.4	36.4	31.8	35.2	18.7	41.3	37.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	37.8	▲ 2.6	65.0	15.0	96.0	24.7	27.2	41.9
木材	76.2	25.0	37.7	77.1	59.6	29.9	43.5	▲ 26.7
パルプ	44.2	92.7	49.5	65.1	33.4	36.3	92.9	32.2
紙類及び同製品	20.2	▲ 17.2	1.6	15.2	24.2	43.2	5.0	▲ 16.3
原動機	66.5	162.2	89.5	49.7	74.6	21.1	63.1	12.4
自動車の部分品	0.4	▲ 26.5	▲ 16.5	▲ 7.6	▲ 44.2	▲ 8.5	▲ 20.1	▲ 0.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	15.5	▲ 3.9	18.2	47.4	15.2	21.4	36.6	60.6
米国	20.9	13.1	▲ 7.3	2.4	61.0	31.9	20.5	26.5
EU	60.8	31.3	102.4	▲ 1.8	53.3	9.0	44.1	11.7

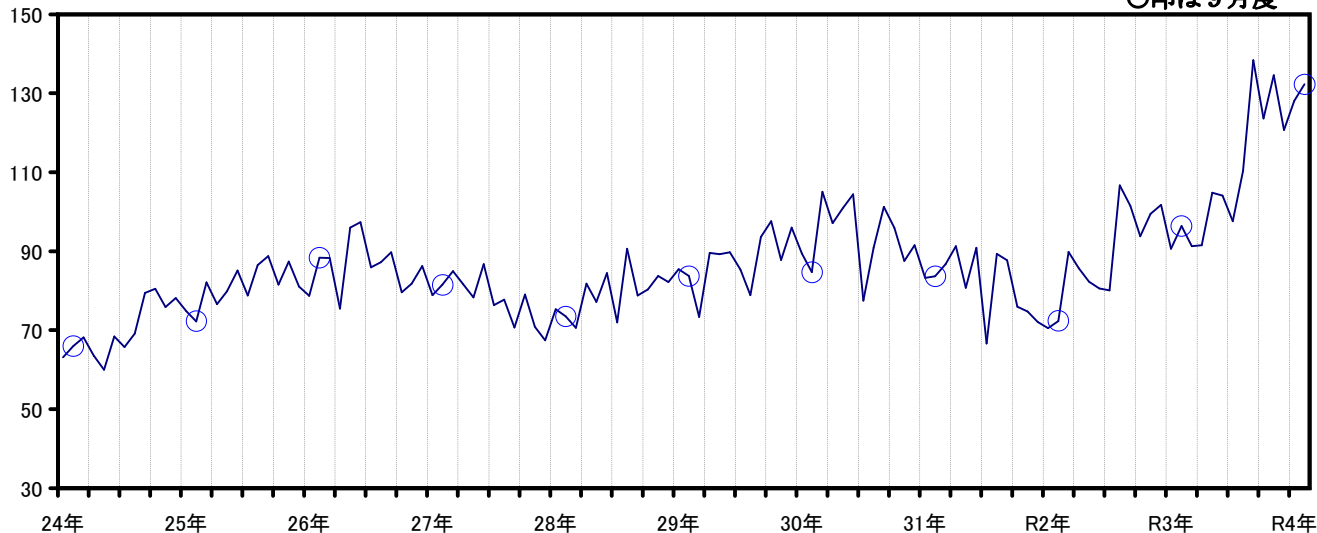
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

9月 = 95.0

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.5%減

*前年同月比(原指数) : 15.4%増

<概況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は95.0(季節調整済指数)で、前月比は1.5%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は15.4%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 5.1%減)が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同 22.2%増)が3か月連続、輸送機械(同 47.1%増)が4か月連続、化学(同 0.7%増)、パルプ・紙・紙加工品(同 1.2%増)がいずれも2か月連続、食料品・たばこ(同 2.0%増)が3か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	88.7	89.7	92.3	81.3	94.4	91.5	96.4	95.0
前月比(%)	3.6	1.0	2.6	▲11.0	13.1	▲2.9	4.9	▲1.5
前年同月比(%)	▲3.2	▲8.0	▲11.9	▲8.3	0.5	▲0.9	9.1	15.4
(参考)全国前年同月比(%)	0.5	▲1.7	▲4.9	▲3.1	▲2.8	▲2.0	5.8	9.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲12.2	▲8.0	▲9.9	▲15.0	▲0.2	▲17.1	14.5	▲5.1
電気機械工業	▲7.0	▲5.6	▲22.6	▲30.0	▲15.4	14.0	11.8	22.2
輸送機械工業	▲1.4	▲14.6	▲15.8	▲3.4	8.9	9.9	20.1	47.1
化学工業	▲6.5	▲5.4	▲18.7	▲2.0	▲4.1	▲6.8	5.2	0.7
パルプ・紙・紙加工品工業	1.6	1.3	1.4	2.7	4.4	▲2.3	2.6	1.2
食料品・たばこ工業	9.1	▲2.2	0.1	▲8.1	11.3	▲10.8	▲3.6	2.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

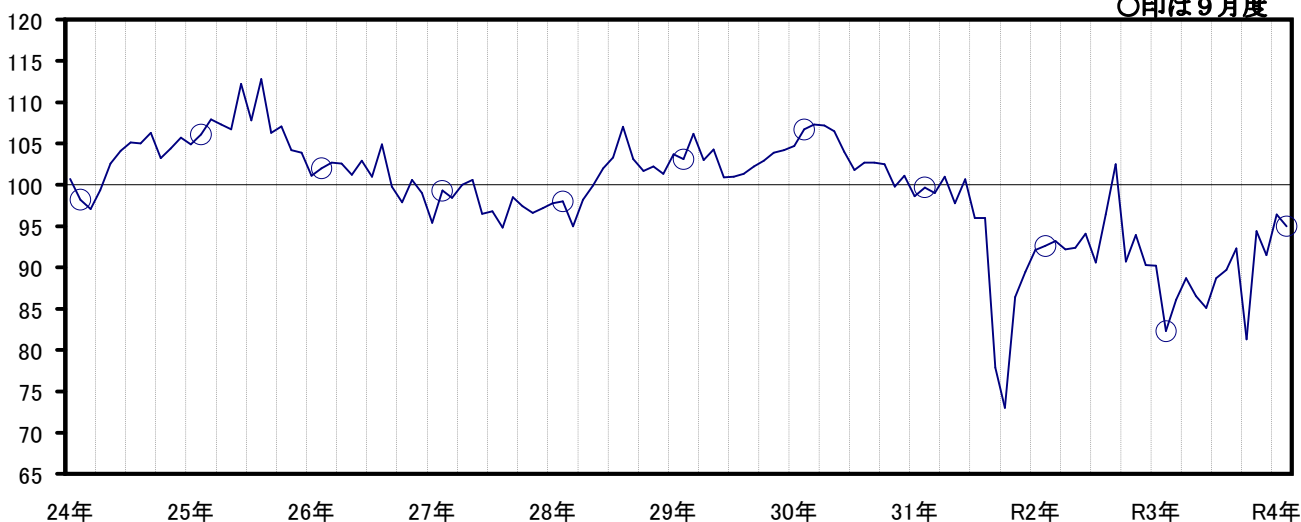
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は9月度



(2) 鋳工業在庫指数

9 月 = 107.4

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 1.0%増

* 前年同月比(原指数) : 0.7%増

<概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は107.4(季節調整済指数)で、前月比は1.0%増と、3か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は0.7%増と、3か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 30.5%減)が8か月連続、化学(同 4.7%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 3.0%減)が16か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 23.3%増)、輸送機械(同 55.4%増)がいずれも4か月連続、食料品・たばこ(同 2.3%増)が3か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指 数	103.3	100.7	106.4	105.8	101.8	105.8	106.3	107.4
前 月 比 (%)	3.4	▲ 2.5	5.7	▲ 0.6	▲ 3.8	3.9	0.5	1.0
前 年 同 月 比 (%)	▲ 3.4	0.0	1.1	3.6	▲ 0.8	6.5	5.0	0.7
(参考)全国前年同月比(%)	7.1	6.8	4.1	3.8	4.2	5.1	5.9	6.1

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 19.8	▲ 23.9	▲ 26.5	▲ 30.5
電 気 機 械 工 業	2.5	▲ 5.2	3.0	▲ 1.0	1.9	6.6	16.5	23.3
輸 送 機 械 工 業	5.2	8.5	▲ 13.0	▲ 3.6	4.3	38.2	53.5	55.4
化 学 工 業	▲ 8.9	10.6	▲ 2.6	8.4	4.1	▲ 6.3	3.1	▲ 4.7
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 6.4	▲ 9.2	▲ 7.1	▲ 4.7	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 3.4	▲ 3.0
食料品・たばこ工業	3.3	5.4	26.9	28.3	▲ 1.3	43.0	3.4	2.3

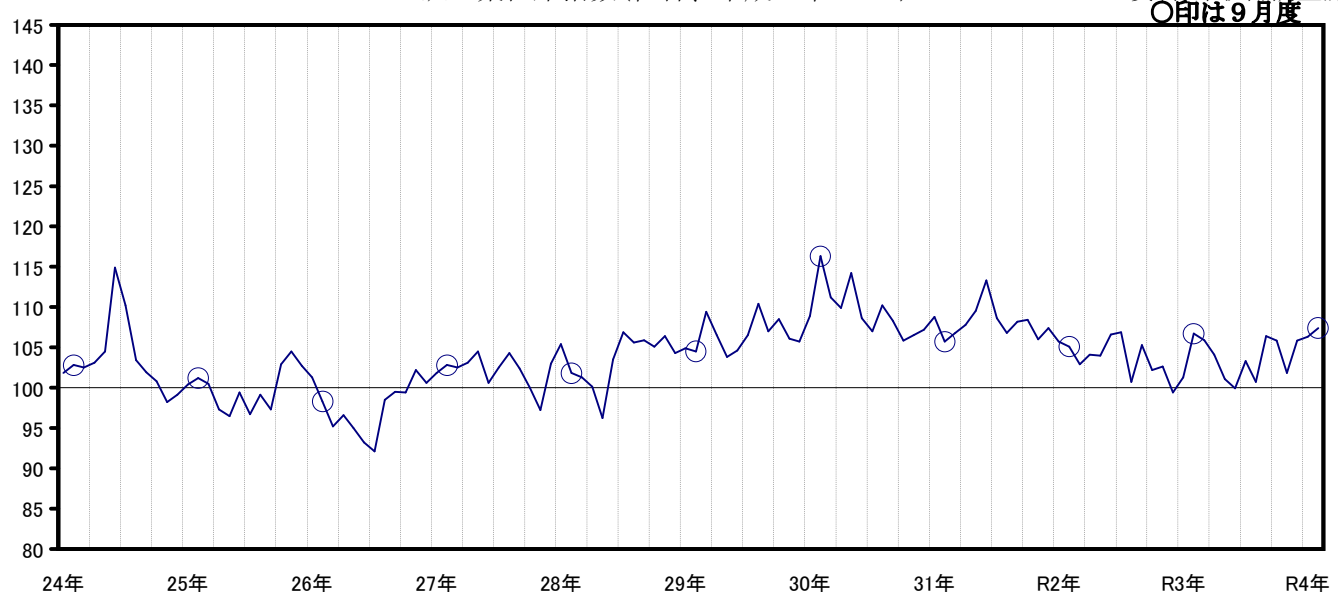
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.33倍

*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

9月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.33倍となり、前月を0.01ポイント上回った。20か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.01ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比12.7%増)は18か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比1.3%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同4.7%増)が2か月ぶり、製造業(同8.9%増)が20か月連続、運輸業・郵便業(同4.5%増)が6か月連続、卸売業・小売業(同55.2%増)が16か月連続、医療・福祉(同8.8%増)が19か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同6.6%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.21	1.24	1.27	1.28	1.31	1.31	1.32	1.33
全 国	1.21	1.22	1.23	1.24	1.27	1.29	1.32	1.34

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	3.8	8.5	7.8	7.7	11.0	3.0	▲0.1	4.7
製 造 業	38.1	41.0	14.7	13.8	21.7	7.4	9.6	8.9
情 報 通 信 業	▲10.7	▲2.2	50.0	▲20.6	8.7	6.5	▲10.5	▲1.3
運 輸 業 ・ 郵 便 業	13.8	▲4.6	14.6	8.7	7.0	7.1	1.0	4.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	13.1	22.8	29.4	14.3	58.0	18.0	24.5	55.2
医 療 ・ 福 祉	21.6	8.3	14.9	14.4	1.5	3.2	5.9	8.8
サービス業(他に分類されないもの)	20.4	14.6	20.1	6.6	7.9	▲7.3	15.4	6.6
合 計	20.2	12.9	15.7	10.6	14.6	5.2	10.6	12.7

(注)学卒、パートタイムを除く

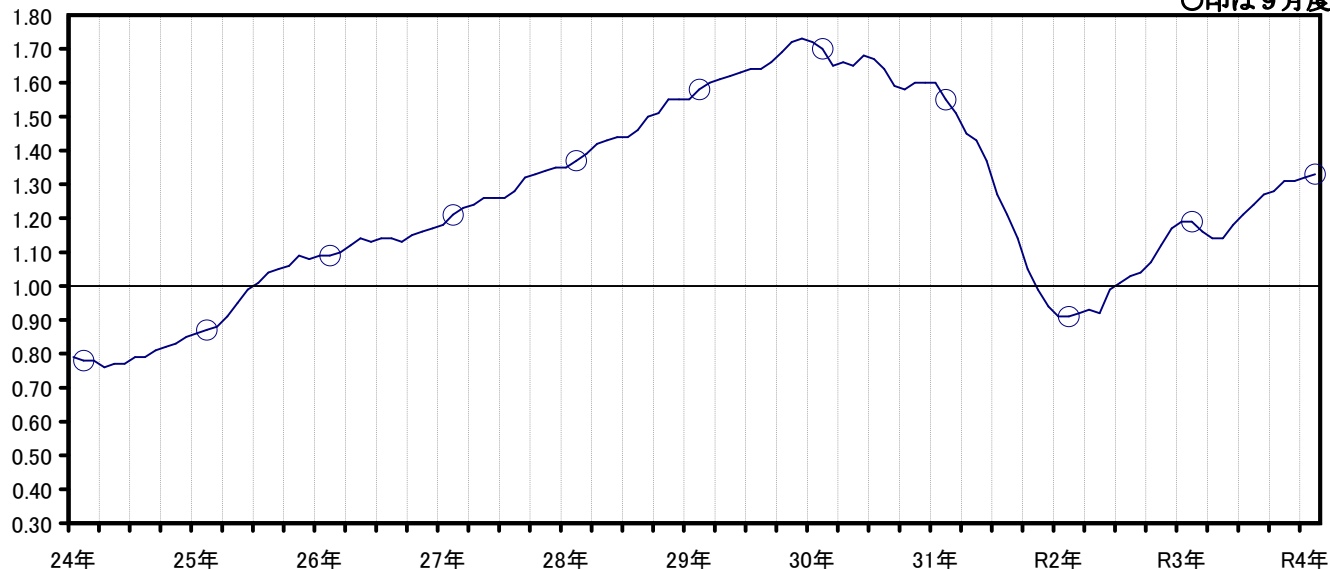
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は9月度



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 11,986人

*前月比: 4.5%減

*前年同月比: 5.9%減

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は11,986人で、前月比は4.5%減と、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は5.9%減と16か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.6%と前月から0.1ポイント悪化した。
 静岡県(令和4年4~6月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和4年1~3月)から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	10,541	10,594	10,011	10,377	11,498	11,952	12,557	11,986
前月比(%)	▲4.3	0.5	▲5.5	3.7	10.8	3.9	5.1	▲4.5
前年同月比(%)	▲15.7	▲15.4	▲17.6	▲14.1	▲10.7	▲9.3	▲4.2	▲5.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲13.9	▲15.2	▲15.8	▲10.7	▲11.1	▲9.6	▲4.4	▲5.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6

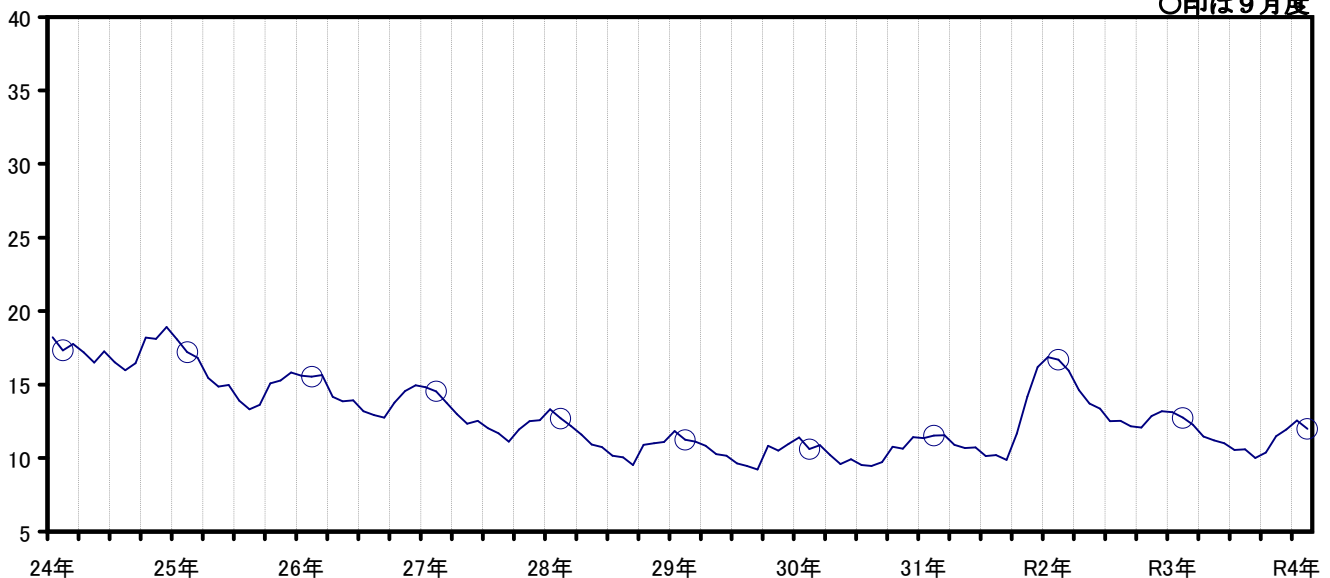
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は9月度



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 115.1

*前月比(季節調整済指数): 2.1%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 6.8%増

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は115.1(季節調整済指数)で、3か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は6.8%増と、9か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 22.9%減)が10か月連続、情報通信業(同 11.1%減)が3か月ぶり、運輸業・郵便業(同 14.1%減)が5か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同 6.0%増)が9か月連続、卸売業・小売業(同 8.1%増)が14か月連続、医療・福祉(同 21.7%増)が8か月連続、その他のサービス業(同 34.6%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	114.8	116.6	113.3	115.6	120.9	119.0	117.6	115.1
前月比(%)	9.4	1.6	▲2.8	2.0	4.6	▲1.6	▲1.2	▲2.1
前年同月比(%)	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9	4.8	6.8
(参考)全国前年同月比(%)	7.1	7.0	4.9	6.4	5.1	5.9	1.4	3.5

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	▲16.2	▲12.3	▲33.8	▲37.8	▲26.5	▲26.4	▲52.4	▲22.9
製造業	13.4	14.4	7.5	2.0	3.8	2.3	0.6	6.0
情報通信業	1.6	▲17.7	0.4	▲19.3	▲2.9	0.7	13.5	▲11.1
運輸業・郵便業	▲17.7	0.7	0.4	▲4.5	▲7.1	▲7.5	▲9.9	▲14.1
卸売業・小売業	60.8	28.0	11.2	38.1	71.5	41.5	1.6	8.1
医療・福祉	13.2	34.0	25.1	12.5	21.1	11.2	10.2	21.7
その他のサービス業	31.4	48.1	▲13.6	8.5	34.9	44.7	35.8	34.6
調査産業計	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9	4.8	6.8

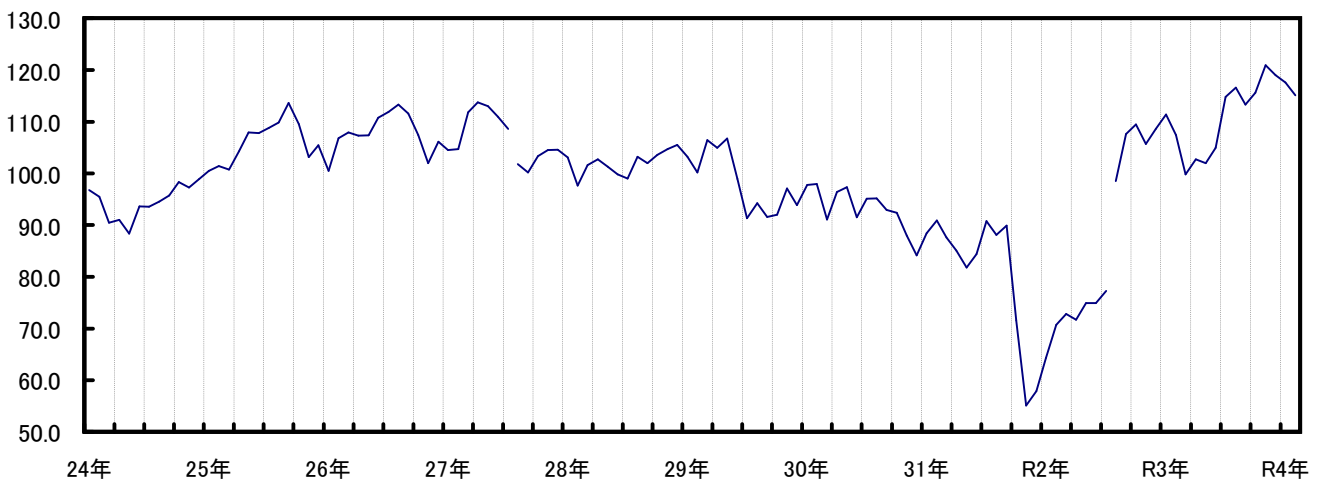
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 117.5

*前月比：0.6%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比：9.1%上昇

<概況>

10月の国内企業物価指数は117.5となり、前月比は0.6%の上昇となった。また、前年同月比は9.1%の上昇となった。

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	111.4	113.2	113.3	114.3	115.2	115.7	116.8	117.5
前月比 (%)	1.0	1.6	0.1	0.9	0.8	0.4	1.0	0.6
前年同月比 (%)	9.4	9.9	9.4	9.6	9.3	9.6	10.2	9.1

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 143,216億円

*前月比：0.4%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比：同水準

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,216億円で、前月比は0.4%の増加となった。また、前年と同水準となった。

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	142,439	142,425	142,184	142,065	142,433	142,647	142,664	143,216
前月比 (%)	▲0.1	▲0.0	▲0.2	▲0.1	0.3	0.2	0.0	0.4
前年同月比 (%)	▲2.0	▲1.7	▲1.4	▲1.3	▲0.9	▲0.6	▲0.3	0.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8月 = 1.322%

*前月差：0.007ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差：0.081ポイント減

<概況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.322%で、前月から0.007ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.081ポイントのマイナスとなった。

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利 (%)	1.370	1.364	1.355	1.349	1.344	1.334	1.329	1.322
前月差(ポイント)	▲0.003	▲0.006	▲0.009	▲0.006	▲0.005	▲0.010	▲0.005	▲0.007
前年同月差(ポイント)	▲0.064	▲0.066	▲0.070	▲0.071	▲0.072	▲0.075	▲0.077	▲0.081

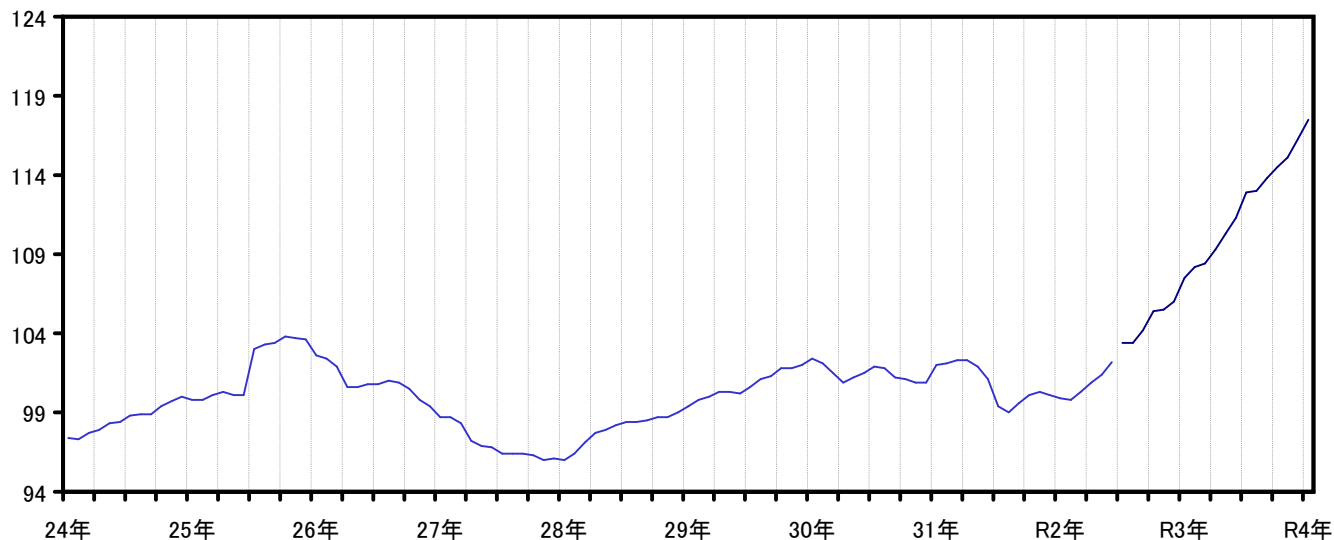
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

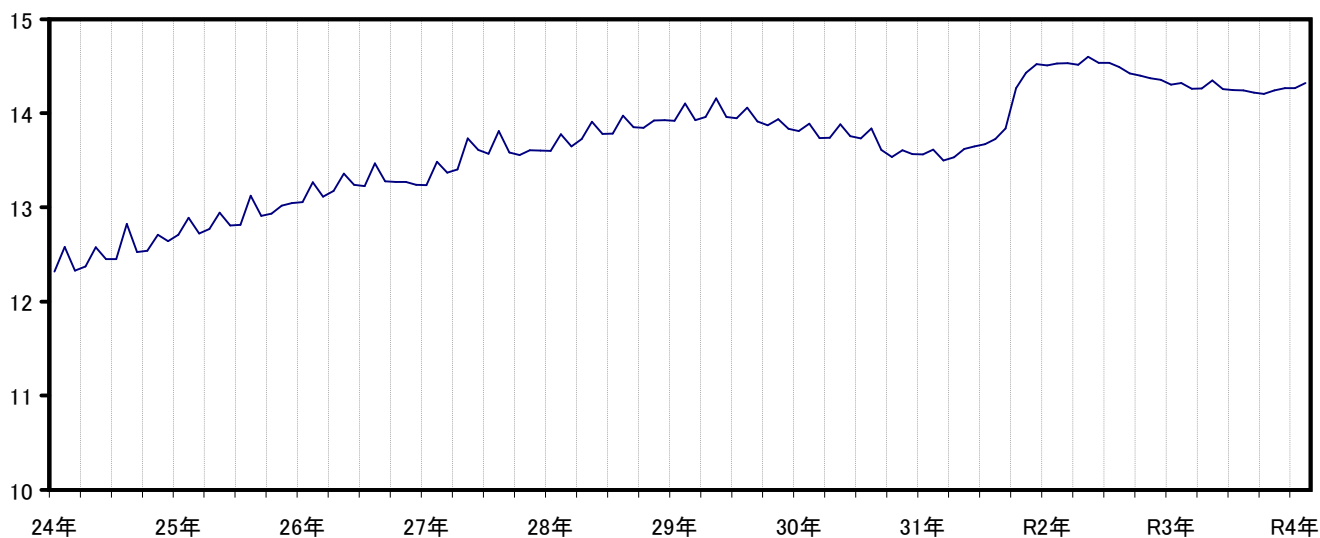
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



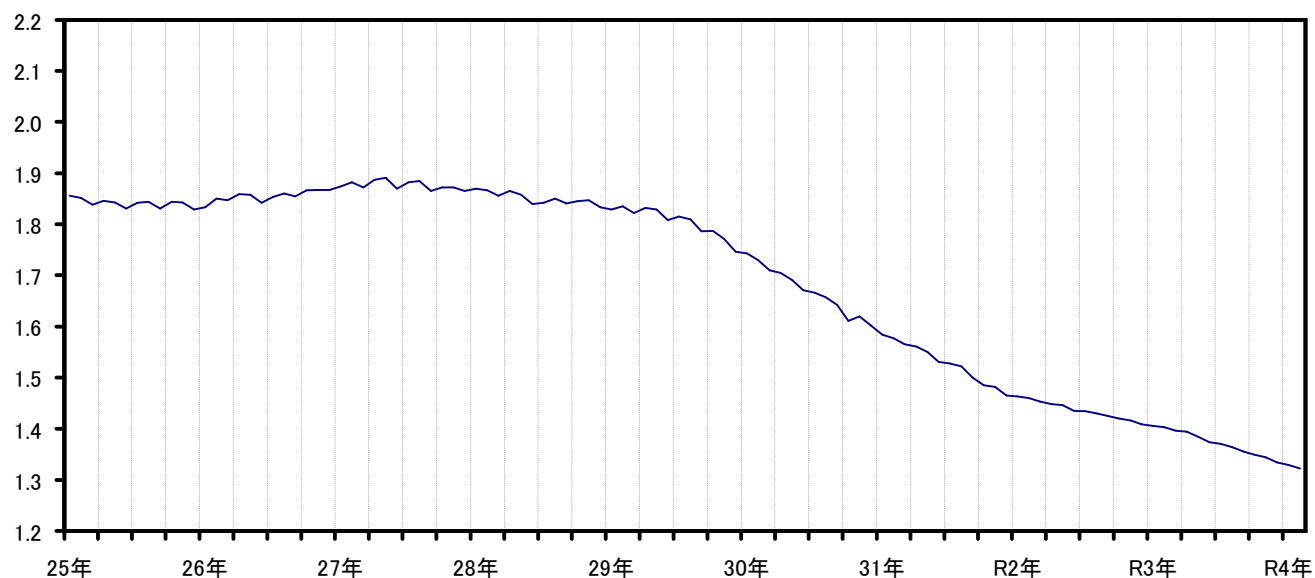
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**9月 = 26,742百万円**

*前年同月比：162.2%増

<概況>

9月の保証承諾は、金額は26,742百万円（前年同月比162.2%増）、件数は2,142件（同119.3%増）と、いずれも31か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額(百万円)	17,160	26,609	32,414	34,448	33,533	23,461	25,425	26,742
前年同月比(%)	23.1	22.2	91.9	282.7	229.2	165.5	162.9	162.2
保証件数(件)	1,611	2,390	1,696	1,898	2,030	1,740	1,959	2,142
前年同月比(%)	30.2	30.1	60.7	158.6	132.9	123.8	119.7	119.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 147.01円/ドル**

*前月差：3.87円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差：33.91円安

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は147.01円で、前月と比べて3.87円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場(円)	118.51	126.04	128.78	133.86	136.63	135.24	143.14	147.01
前月差(円)	3.31	7.53	2.74	5.08	2.77	▲1.39	7.90	3.87
前年同月差(円)	9.86	16.91	19.59	23.75	26.34	25.40	32.97	33.91

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 22件**

*前年同月比：10.0%増

<概況>

10月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は22件（前年同月比10.0%増）と前年実績を上回り、負債総額は2,613百万円（同88.4%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が19件と全体の86.4%を占め、3か月連続で50%以上となっている。

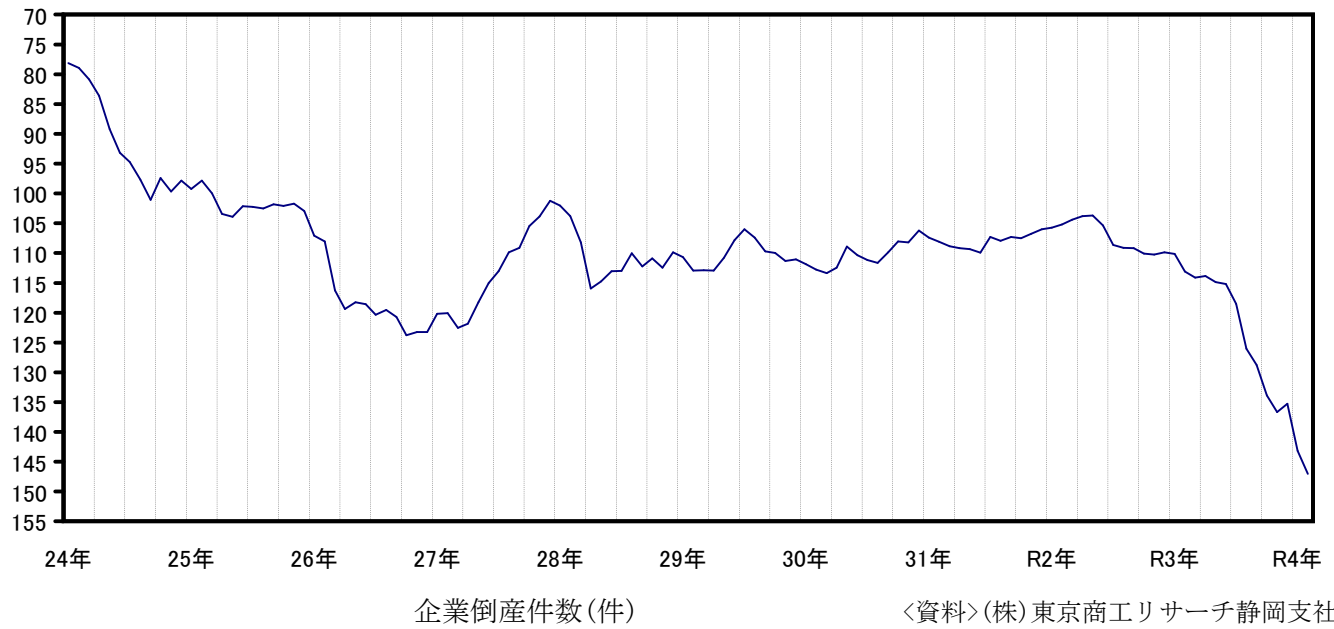
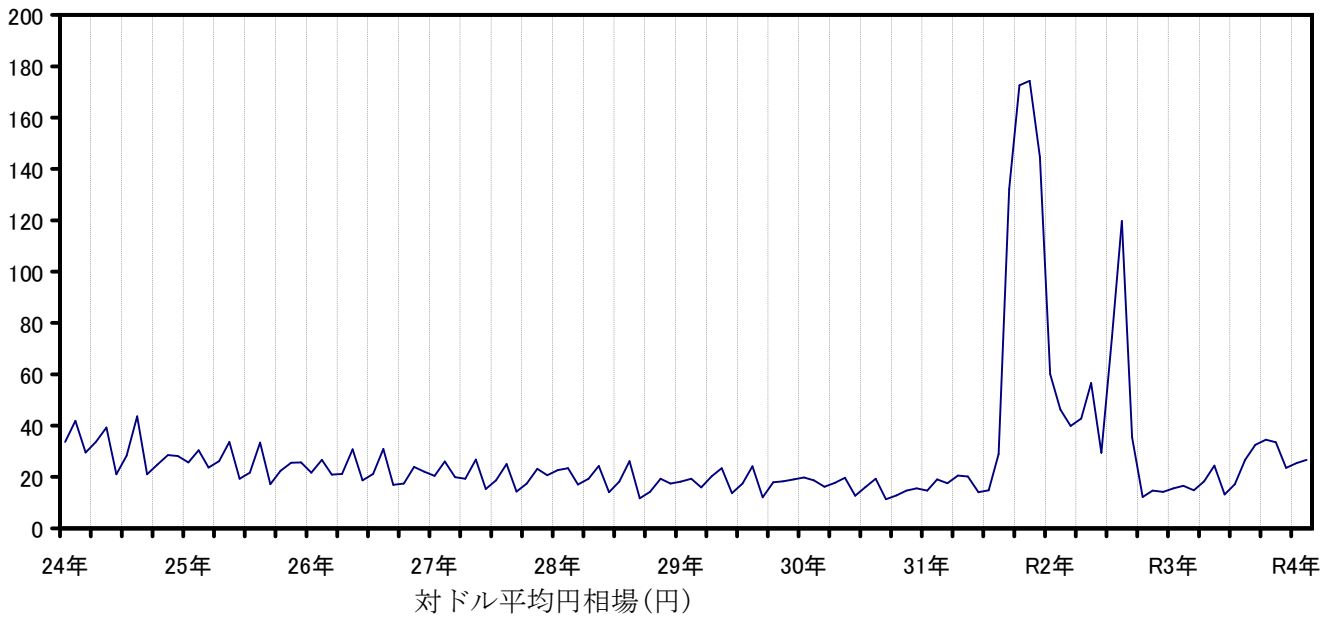
	R4年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数(件)	16	19	18	15	5	9	16	22
前年同月比(%)	▲11.1	5.5	20.0	15.3	▲61.5	12.5	6.6	10.0
うち不況型倒産件数(件)	14	14	13	11	2	7	14	19
負債総額(百万円)	1,507	5,953	1,875	1,935	175	2,080	1,240	2,613
前年同月比(%)	▲47.0	96.5	▲24.7	25.3	▲86.1	149.1	19.5	▲88.4

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

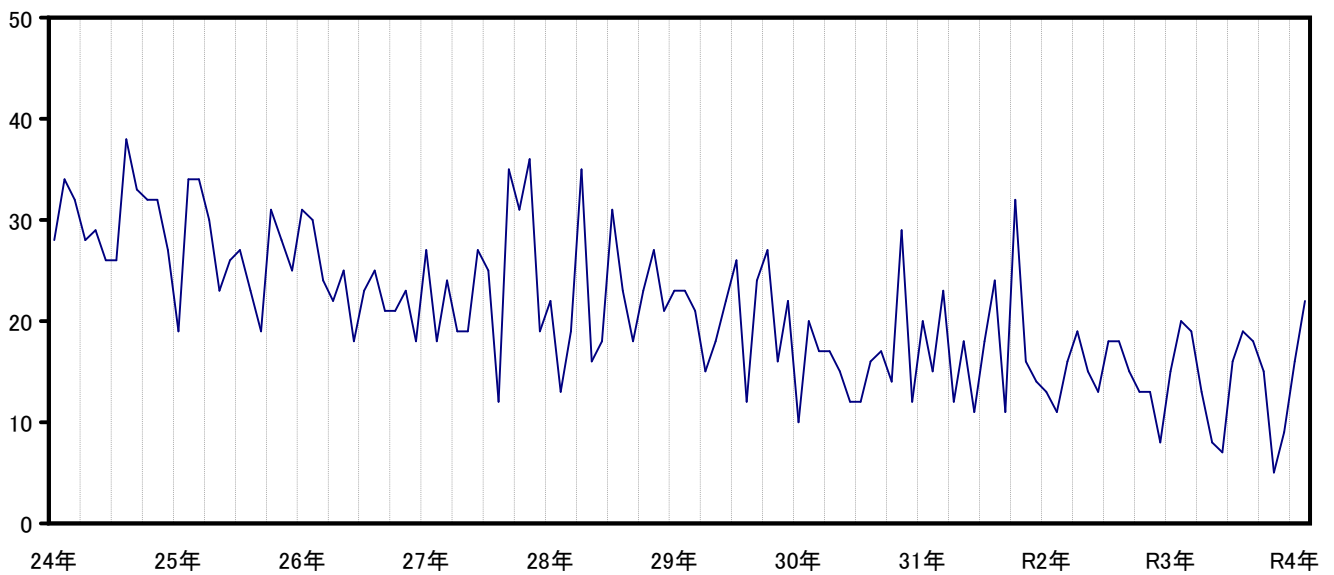
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和4年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、62,671台（前年同月比 37.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、14,539台（同 68.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,649台（同 32.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,614台（同 25.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、38,869台（同 63.3%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、29,717台（同 0.8%増）で、5か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、40,586台（同 11.3%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、584,291台（前年同月比 21.6%増）と、13か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は293,765台（同 16.5%増）と、8か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が13か月ぶり、トラックが6か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも13か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は378億円（前年同月比 1.1%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は297千台（同 8.0%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは568千台（同 14.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は74千台（同 14.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、1,241千台（同 11.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,060千台（同 19.3%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 85.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,508億4,800万円（前年同月比 4.3%増）で、23か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は984億2,900万円（同 13.1%増）で、23か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが475億円（同 25.3%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。内需は524億1,900万円（同 8.9%減）で、19か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「材料費等については容赦なく値上げされてきているが、取引先の価格は上がり、厳しい状況が続いている。」「急激なインフレから、先行き景気の減速懸念材料が多く、受注引き合い件数が一転減少傾向にある。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

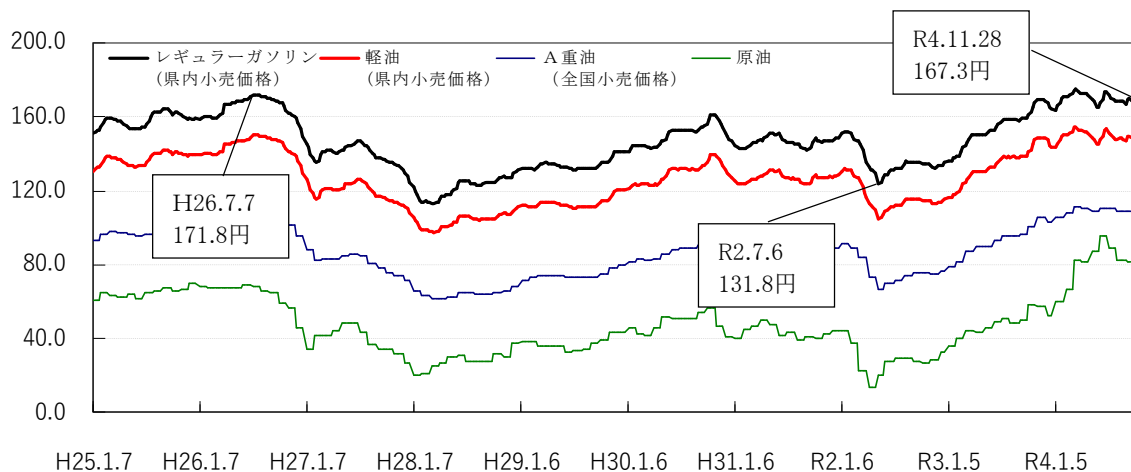
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億5,680万円（前年同月比19.4%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが32億4,544万円（同5.9%増）で、国内向けが24億1,136万円（同44.2%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,313台（同3.8%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,212台（同5.9%減）、グランドピアノが1,101台（同0.6%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,270台（同17.0%減）、国内向けが1,338台（同79.6%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,825千ト（前年同月比0.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は871千ト（同4.1%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。板紙は954千ト（同2.7%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、463千ト（同6.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、153千ト（同3.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け960千箱（前年同月比9.9%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は674千箱（同7.1%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は420千箱（同14.2%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は286千箱（同15.8%減）と4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,447千箱（同15.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、785千㎡（前年同月比21.2%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、733千㎡（同25.4%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、52千㎡（同17.7%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千㎡（同21.1%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、40億9,946万円（前年同月比3.2%増）と6か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、509億3,285万円（同1.8%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は、34,582百万円（既存店前年同月比 0.7%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品、身の回り品が前年実績を上回った。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、まぐろなどの水揚げ量の減少により、仕入価格が高騰し、販売価格が上昇したため、鮮魚の売上げが不調だった。</p> <p>西部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。外食需要の増加と販売価格の上昇により、生鮮食品の売上げが不調だった。一方、旅行需要の増加により、旅行用品の売上げは好調だった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、衣料品や雑貨（美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、食品を扱う催事は集客力があるため、今後も催事を企画している。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、映画館等サービス施設や旅行用品の売上げが好調だった。また、台風15号による停電や断水の影響で、防災グッズの売上げが好調だった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約32万人で、前年同月比 258.7%増となった。</p> <p>本年9月は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等が発令されなかったことから、昨年度よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比12.4%増となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー167.3円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	21,054	27,056	27,994	23,172	17,058	26,716	27,659	26,711	29,757
前年同月比(%)	▲0.9	7.5	▲5.2	▲2.7	2.4	16.9	22.4	28.2	72.3
KD輸出額(百万円)	1,433	1,621	1,940	1,931	1,132	890	988	906	1,207
前年同月比(%)	2.5	▲4.0	39.0	40.3	44.3	▲16.6	▲15.3	▲2.2	▲18.2

<楽器>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	2,788	2,922	3,233	3,126	2,667	3,177	3,207	2,582	3,256
前年同月比(%)	29.2	7.6	7.7	▲0.2	1.8	▲4.6	4.6	0.7	8.4

<缶詰>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	883	936	1,030	1,053	936	1,089	1,010	981	960
前年同月比(%)	6.6	2.6	1.7	▲1.0	▲3.1	▲2.5	▲1.6	0.6	▲9.9
うち水産缶詰(%)	4.7	2.9	2.1	1.4	▲5.0	▲2.6	▲0.8	1.7	▲7.1
農畜産缶詰(%)	10.7	1.7	0.9	▲6.3	1.8	▲2.3	▲3.6	▲2.1	▲15.8
飲料缶生産高(千ケース)	4,720	6,091	7,432	7,057	7,686	7,918	7,926	7,545	6,447
前年同月比(%)	1.3	18.0	▲4.3	▲13.9	▲2.3	5.9	3.0	▲2.0	15.0

<繊維>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	747	659	768	728	677	739	736	680	785
前年同月比(%)	▲5.1	▲12.0	7.6	3.5	2.3	8.2	10.8	17.5	21.2
小幅織物(千㎡)	15	16	17	17	17	17	15	14	15
前年同月比(%)	▲26.8	▲12.5	▲6.8	▲3.8	13.5	6.9	7.4	5.9	21.1

<観光>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,299	989	1,498	1,377	1,465	1,202	1,693	2,387	1,522
前年同月比(%)	81.8	40.7	22.6	32.9	33.8	30.8	23.3	44.4	61.7
観光施設(10施設)入込 (千人)	272	197	411	416	528	248	273	461	319
前年同月比(%)	32.1	▲32.3	9.1	0.8	22.8	14.5	8.9	72.4	258.7
有料道路(4路線)通行量 (千台)	519	465	623	549	625	544	609	706	561
前年同月比(%)	21.3	▲1.1	12.3	4.5	11.9	9.8	▲0.4	15.6	12.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和4年11月号 通巻559号

発行 静岡県経済産業部
令和4年11月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>